学 習 指 導 研 究 部

部長　門井　五雄（久喜・鷲宮西）

１、研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現

２、研究の趣旨

生徒たちが、日々の学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質や能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするには、「どのように学ぶか」といった学びの質が重要になる。

そのためには、多様な人との対話や書物等で考えを広めたりし、各教科で身に付けた資質や能力を様々な問題の発見や解決に活かすように学びを深めたりしなければならない。

そこで、学校では生徒の多様な変化に対応しつつ学びの質を高めるＩＣＴの活用方法についての研究や「主体的・対話的で深い学び」が実現するように日々の授業改善に取り組まなければならない。

３、研究の視点

　○「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点による学習評価の開発

　○教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業

　○全ての学習の基礎となる言語能力や情報活用能力、問題を発見し解決する能力の向上

４、研究の組織

(1)役員

部　長　　　門井五雄（久喜・鷲宮西）

副部長　　　清水正之（深谷・藤沢）

庶務・記録　酒井一昭（上尾・大谷）

会　計　　　吉田　基（川越・川越第一）

準備委員　　志田隆之（東秩父・東秩父）

(2)埼玉大会

提　案　　　沼田芳行（所沢・向陽）

司　会　　　清水正之（深谷・藤沢）

(3)研究推進委員

南　部　　　酒井一昭（上尾・大谷）

西　部　　　吉田　基（川越・川越第一）

北　部　　　清水正之（深谷・藤沢）

東　部　　　門井五雄（久喜・鷲宮西）

(4)部　員　　４３名

５、研究活動

(1)研究推進委員会

例年、県内4つの地区（東部：埼葛・北埼、西部：入間・比企、南部：北部・南部、北部：大里・秩父・児玉）から1名ずつ研究推進委員を選出し、令和５年１月３１日行われる全体研究協議会にむけて、学習指導研究部会の運営や研究を推進している。

(2)主な研究推進の取組

　①第1回部会（全体研修会分科会）

期日：令和４年５月２６日（木）

会場：ＷＥＢ開催

内容：今年度の役員・研究主題・研究計画等

　　②関地区中学校校長会

第７４回研究所協議会　埼玉大会

期日：令和４年６月１６日（木）

１７日（金）

会場：ＷＥＢ開催

内容：関地区中埼玉大会第２分科会（学習指導）における手安にも続く研究協議及び指導助言

研究概要：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点による学習評価の開発

　　　　教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業

　　③第２回部会（全体研究協議会分科会）

期日：令和５年１月３１日（火）

会場：埼玉会館

内容：第２分科会（学習指導）における提案にもとづく研究協議及び指導助言

提案者：福田和己（羽生・西）

司会者：小金井幸則（川越・大東西）

記録者：澁谷利幸（本庄・児玉）

会　場：酒井一昭（上尾・大谷）

６、まとめ

今年度行われた関地区中埼玉大会はＷＥＢ開催であったが各県からは高評価をいただいた。

また、第２回研究部会においても具体的な提案による県境協議を行いことができた。

今後は、様々な状況に応じながらも「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組めるような研究を進めていきたい。